

# 卒業式

令和2年3月5日(木)、卒業式が執り行われました。29名の卒業生は伝統ある救護服に身を包みました。凛とした卒業生の姿にたくましさや頼もしさを感じました。様々な人たちに支えながら過ごした3年間の学校生活を胸に、笑顔で卒業していきました。



3月5日(木)、私たち29名は卒業式を迎えました。今日に至るまでの3年間は短いようでもあり、とても長い時間だったようにも思います。

実習では自分の知識や技術、精神面の未熟さや十分なケアを提供できないもどかしさに悔し涙を流し、本当に看護師になれるのかと自問する時もありました。そのような時は、看護師の姿や先生の助言から多くのことを学び、また、互いに支え合って励まし合うクラスメイトの存在に何度も救われました。何より、受け持たせていただいた患者さんには緊張してごちない私の援助を「頑張って」と受け入れてくださり、「立派な看護師になってね」と応援して下さいました。

本当に多くの方々の支えがあったからこそ、3年間を乗り越えることができたのだと思います。3年間を通し、看護師の役割と責任の重さを感じるとともに、その素晴らしさにも気づくことができました。これから先も多くの壁があると思いますが、この3年間の経験を糧に看護の道を進んでいきたいと思っています。

卒業生代表 68回生入井里奈